



永平寺町

第31号

平成25年7月19日 発行

議会だより



わんぱう団

夢サロンで紙芝居をする
「B-メイト」の方々
(※ 最終ページに紹介記事)



押してね!

永平寺町議会
facebook

笑顔あふれる学校給食 ②ページ

そこが聞きたい! (議員16人が一問一答) ⑨ページ

議会と語ろう会 町民からの質問・要望等への回答 ⑳ページ

永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>

おいしくて
安心・安全な

笑顔あふれる学校給食

町の宝、子どもたちが健やかに育つために…

平成25年度当初予算の付帯決議・意見書の中で大きく取り上げた学校給食について、教育民生常任委員会が学校給食調理現場を調査しました。

議会はこの報告を受け、今後の給食の取り組みについて、子どもたちの思い・子育て支援・現場・財源等、様々な角度から議論し行政に対して提言していきます。



楽しいランチタイム

心をこめた給食作り

本年度から学校給食費無償化を実施することとなり、学校給食への関心が高まっています。とりわけ給食の安全性について、調理室の現地視察を終えてレポートします。

では、大腸菌O-157やノロウイルスの発生等で、国により衛生管理基準や手洗いマニュアルなどが定められています。

今回、町内3施設を視察し、国の基準との比較や調理員への聞き取り調査をします。



まず高く評価できることは、徹底した衛生管理を行っているということ。入室前の健康状態確認、手洗いの繰り返し、7工程ごとのエプロン交換など、家庭の料理とは全く異なるものでした。そして、一人一人の役割と調理室内の動き、タイムスケジュールなどを綿密に立て、作りたての給食を食べられるよう努力していました。ただただ感謝です。



給食は心の栄養



地域振興研究会 合併して8年目、公共施設の再編を

座長 渡邊 善春

これから取り組み

現在、永平寺町議会には、委員会の他に、全議員参加のもと、研究・勉強会を行う地域振興研究会を設置しています。

合併し8年目、町内公共施設の見直し・有効利用・将来について、多くの議員の中から意見が出ています。一般質問の中から行政は27年度までに計画を示すと答弁しています。議会としては合併特例期間もあること、効率のよい運営を行うということから、地域振興研究会で、視察・聴き取りをし、現状と課題をしっかりと把握し、特別委員会に上げ前倒しで計画ができるよう提案していきます。



- 高温多湿緩和のため、業務用の換気扇に変えたり、空調設備の改善を行う
- 手洗い場は温水にし、シンクも大きくし、設置数も増やす
- 調理員専用トイレを設置する
- 脱衣所を確保する
- 緊急性のあるところから実施し、年次改善計画も立てる

議案への賛否討論



永平寺町議会議長
伊藤 博夫

議会と語るろう会を終えて

町民の皆様には、日頃町議会に対しご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

4月の議会と語るろう会は、これまでどおり各地区の12ヶ所の集落センター等で開催し、3日間で延べ200名の方が会場に足を運んでくださいました。ありがとうございました。町民の皆様からいただきましたご意見は、議員全員で共有し、所属の委員会にて審議し、政策立案や提言に反映させていただきます。年2回の議会と語るろう会を通して町民の皆様の言葉に耳を傾けることで、少しでも議会を身近に感じていただければ、大変嬉しく思います。

また、議会、委員会で積極的に視察を行い、見て・聞いて現場の声を議会で議論し行政に提案していきます。今後とも、町民本位・町民感覚で活発に議論する議会となるよう努めてまいります。

承認第1号
平成24年度
一般会計補正予算の専決処分の承認
15対1で可決

金元直栄

反対
子ども手当での支給を口実に、各種扶養控除が廃止された。これが本町では7千万円、約9%の増税となっている。これは認められない。

陳情第2号
年金2.5%の削減中止を求める陳情
9対7で可決

原田武紀

反対
現在、国の借金は1000兆円弱で毎年膨らみ続けている。ギリシャのように一旦、世界市場の信用を失墜すると、国民生活は悲惨なものとなる。痛みは伴うが、消費税増税や年金削減等で、世界に財政再建の強い意志を示すべきである。さらに、支給開始年齢の更なる引き上げも検討されている年金財源の逼迫状況を考慮すると、この陳情には賛成できない。

賛成

金元直栄

安倍首相は、アベノミクスで物価

平成25年第4回永平寺町議会定例会は、6月4日(火)～17日(月)まで14日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、人権擁護委員候補者として、永平寺町吉峰 多田博幸氏の推薦に同意しました。議長 伊藤 博夫

平成25年 第4回 定例議会報告

第4回定例議会議案

承認第1号 平成24年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第30号 消防ポンプ自動車の取得について	可決
承認第2号 平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦	適任
承認第3号 平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	陳情第1号 TPP交渉参加への断固阻止に関する要請	取下げ承認
承認第4号 税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	陳情第2号 年金2.5%の削減中止を求める陳情	採択
承認第5号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	陳情第3号 食料・農業・農村の発展に向けた要請	採択
報告第1号 平成23年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	報告	陳情第4号 TPPから食とくらしのちを守る要請	採択
議案第26号 平成25年度一般会計補正予算	可決	発議第3号 年金2.5%の削減中止を求める意見書	可決
議案第27号 行政組織条例の一部を改正する条例の制定	可決	発議第4号 食料・農業・農村の発展に向けた意見書提出について	可決
議案第28号 農山漁村活性化プロジェクト交付金(基盤整備促進・吉野地区)の変更計画	可決	発議第5号 TPPから食とくらしのちを守る意見書提出	可決
議案第29号 本庁舎耐震補強工事の請負契約締結	可決		

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(伊藤博夫)は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井
承認第1号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等17件については全員賛成です。
※議案の詳細は、上記定例議会議案をご覧ください。

反対
委員会審議では受給世代だけの視点でしか議論されていないという委員長答弁があった。負担世代についての議論がされていないためバランスを欠いている。反対とした。

河合永充

反対
20数年前は一人の老人を7、8人で支えていたが、現在は2人が支える時代である。少子高齢化社会で今後年金制度が成り立たなくなると思う。だから私は反対する。

酒井要

賛成
この法律は年金受給者で、特に低額の国民年金のみの受給者にとって生活苦に、そして、それによる消費低迷により経済への悪影響となる。アベノミクスで経済の回復を図り、所得は増加する。受給者にとって受給額が増えるわけでもなく、物価上昇することにより生活を直撃するものである。よって年金2.5%の削減中止を求める陳情に賛成する。

上田誠

本議会の伊藤博夫議長が、

6月に福井県町村議会議長会の会長および、北信越町村議会議長会会長に就任しました。



あわら市で行われた北信越町村議会議長会

住 所 永平寺町吉峰第20号10番地1
氏 名 多田 博幸
生年月日 昭和27年10月14日

○諮問第2号 永平寺町人権擁護委員候補者の推薦について
人権擁護委員1名が平成25年9月30日をもって任期満了となるため、今回、後任候補者として新たに行政から次の者を推薦したいとの報告がありました。



「禪の里」落成式

「健康福祉施設整備室」の業務を「福祉保健課」に移管

総務常任委員会 委員長 長谷川治人

本委員会に付託された案件を慎重審議の結果、議案は原案のとおり委員会全員で可決されました。

※「健康福祉施設整備室」の業務を「福祉保健課」に移管
○議案第27号 永平寺町行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、現在、整備を進めている健康福祉施設『永平寺温泉 禪の里』が、6月20日に竣工し、7月13日開業の運びとなったことから、永平寺町行政組織条例について、所要の改正をするもの。改正の内容は、健康福祉施設の建設を担当してきた「健康福祉施設整備室」を廃止し、廃止後の健康福祉施設に係る業務を「福祉保健課」に移管するもの。

6月5日現地検分に基づき、学校給食の安全安心を確保するために何から改善すべきかを検討しました。



給食室実地検分

特集の取材

当委員会は6月13日に開催され、本定例会の付託案件1件を採択しました。
☆年金の2.5%の削減中止を求める陳情について
☆その他
・平成24年度3月補正予算専決で嘱託保育士の賃金総額の減額補正について
説明 当初予算では嘱託職員52名が8時間245日勤務で計上していた。実際には40名が8時間、12名が4時間、早朝保育は予定の66・3%、延長保育は45・3%で減額補正となりました。

教育民生常任委員会 委員長 長岡千恵子

年金の2.5%の削減中止を求める陳情1件採択

この説明をふまえ当委員会では、TPP（聖域を設けた場合）の当町農業への影響、JA自身の努力、新たな取り組みへの期待、行政が行うべき農業政策等を議論しました。



れんげ米の水田

3月議会で継続審査とした「TPP交渉参加への断固阻止に関する要請について」をJAが取り下げ、新たな要請（陳情第4号）が出されたことにより、全員協議会でJAより説明を求めました。

本委員会に付託された案件は
○議案第28号 農山村活性化プロジェクト支援交付金（基盤整備促進・吉野地区）の計画変更について
○陳情第3号 食糧・農村の発展に向けた要請書について
○陳情第4号 TPPから食とくらし・いのちを守る要請書について
を審議しすべての案件を全員で可決

産業建設常任委員会 委員長 川治 孝行

農業の新たな取組みに期待

旧京都電灯古市変電所(レンガ館)の改修調査委託料等

平成25年度 6月補正予算

総額 1484万5千円 可決

当委員会に付託された議案第26号平成25年度一般会計補正予算案は、提案の通り可決しました。

総額1484万5千円を増額し、補正後の予算総額を84億404万5千円とするものです。

主な事業は、
・旧京都電灯古市変電所(レンガ館)改修に伴う調査

- ・地域防災計画概要版と防災ガイドブックの作成
- ・吉野地区の区画整理に伴う換地計画に基づく清算
- ・道の駅敷地全体の用地測量と検討委員会に要する経費
- ・志比小学校の校内放送設備の修繕などです。

詳細な審議の一部は次の通りです。

「防災ガイドブック」改訂
問 防災ガイドブックは、長く保存できるものにする。また、常日頃、目にするよう工夫を。
答 絵や図を用いて分かりやすい概要版とする。よりよいものとなるよう検討する。

どうするレンガ館
問 レンガ館をどう残すのか。また、その文化的価値を広報すべきではないか。
答 平成23年7月に国の有形登録文化財に指定となったので、保存するための調査と保存方法を決めるが、町としては、モニタメントとして、改修・保存をしたと考えている。また、文化的価値の周知については、広報と解説看板の設置を図りたい。

「道の駅」の影響は
問 道の駅の中の地域振興施設（直売所）は、地元商店への影響を考慮するよう。また、指定管理者は地元の方に。
答 地域の商店と競合しないよう、検討委員会と協議する。また、指定管理者についても、検討していく。

問 振興施設の規模はどれくらいに。
答 敷地内にコンパクトに、あまりお金をかけずに、と考えている。
問 町のコンセプトを明確にし、検討委員会です十分な説明をし理解していただくように。
答 道の駅の役割について十分考え、委員会の勉強会も重ねていくつもりだ。

放射線を知ろう
問 松岡中学校での放射線に関する理科の授業では、放射線の正しい知識を持たせるとはどういう立場からか。
答 自然界におけるいろんな放射線を知ることや、偏見を持たないようにしっかりとした知識を得ることがねらいである。



レンガ館（永平寺口駅付近）

問&答 そこが聞きたい! 一般質問

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。



齋藤 則男 議員

問 店舗の閉店、廃業そして買い物難民の増加…
町はどのように捉えているのか

答 現状把握に努め、
町内消費に向けた促進

問 買い物客等の分散化が重なり、町内の消費が落ち込み、町内での小売店では規模の縮小、店の閉店、廃業、そして名の知れた食品スーパーが閉店。町としてこのような状況をどのように捉え、分析をされているのか。
そして、買い物難民と言われる人たちが年々増加の傾向になりつつある。
町における商業の振興策等について、商工会、また、消費者を含む関係者など意見交換や話し合いをされたことがあるのか。
商工観光課長 商工会等、町内小売店の現状につきまして、話し合いを行い、現状把握に努めさせていただいた。

住民の皆様にはより一層の地元商店の利用をお願いしてまいりたいと考えている。
今後は、商工会等ともよく協議しながら対策というものを講じるよう努めていきたい。
問 交通弱者や高齢者等買い物難民と言われる人たちのために、町として画期的なアイデア、政策等を考え、これに取り組み気持ちはないか。



他市のシャッター商店街

問 全期前納報奨金制度について再度検討し、復活するお考えはないか。
答 今の段階では考えていない

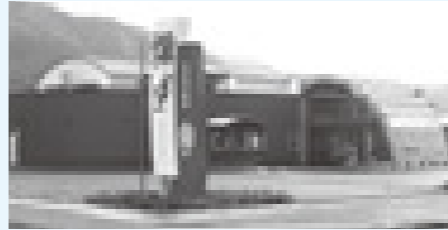
問 全期前納報奨金制度について再度検討し、復活するお考えはないか。
答 今の段階では考えていない
合、その必要額について過去の実績から、約1700万程度になるものと思われる。

【その他の質問】「納税組合の表彰、河川災害の対策について」「教育について」

永平寺温泉 「禪の里」完成

温泉利活用特別委員会
委員長 多田 憲治

合併時より懸案でありました、永平寺温泉「禪の里」が7月3日落成の運びとなりました。健康福祉施設建設については、町民の声が賛否両論ある中、議会で組織する特別委員会を平成22年3月に発足し、施設運営面におきましては町の財政負担の軽減、障がい者専用のハートフル浴室設置等、町民が利用しやすい施設づくりにと幾度となく慎重に審議し、昨年より工事が進められておりました。施設建設にたずさわった関係者各位に厚くお礼申し上げます。県下においても泉質がととも良いというこの温泉が、町民の介護予防・健康維持、余暇の活用につながることを期待しております。



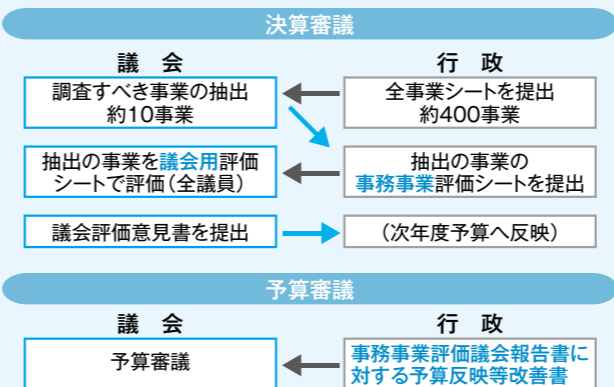
永平寺温泉「禪の里」

「事務事業評価システム」 協議開始

議会行財政改革特別委員会
委員長 川崎 直文

平成25年5月28日（火）に第2次行財政改革大綱実施計画の進捗・事務事業評価システムを協議しました。
第2次行財政改革大綱実施計画の進捗は9月に平成24年度実績が報告されます。
事務事業の効果的な改善を図る事務事業評価はすでに行政で行われています。今年度はより客観的な評価ができるよう、事務事業評価シートが見直され、第2次行財政改革大綱実施計画で、事務事業評価を有効活用した予算編成としていきます。議事も下記のフローで事務事業評価を行い決算に反映させます。

事務事業評価システムの概略フロー



新消防庁舎正面に 専用道路の整備を

消防署統合推進特別委員会
委員長 原田 武紀

去る5月21日、これまでの当委員会で議員から出されていた新消防庁舎建設に対する要望事項の総括を行いました。その結果、緊急出動に備えた国道416号線の信号機設置については、車の交通量等から県警等との事前折衝では困難である旨、理事者側から説明がありました。
その他の、
◎新庁舎正面の専用道路の整備
◎永平寺支所裏の駐車場と裏口玄関の拡張整備
◎新庁舎と支所の景観合わせ
◎支所の表側から裏側へのアクセス道路の整備等については、できるだけ要望に沿いたい旨の回答を得ました。
また、議員から「新設庁舎東側（青木歯科側）住民への挨拶と説明を急ぐべき」の注意意見があり、その後、理事者側から即刻実施し、快く理解を得られたとの報告がありました。



消防専用道路計画の開発センター前

問 身体障がい者の就労施設・入所施設の設定を

答 授産施設は前向きに考える
入所施設の誘致は障がい者基本計画に取り入れる



長岡千恵子議員

問 一般企業で働けない障がい者の就労支援について町の考えは。
福祉保健課長 就労継続支援B型事業所に延426人・就労継続支援A型事業所に延べ211人・就労移行支援事業所に延べ57人の合計694人が利用している。

町長 就労の支援、授産施設というものを町内でできなにか十分検討している。条件を満たした経営される方が来て、施設運営をしてもらうことが大事。



就労継続支援・B型事業所

問 徐々に整理される公共施設を利用して、重度障がい者の入所施設ができないか。町内にそういう事業をやりたいという人がいないのであれば、

答 不登校の子どもに居場所が無いと言われているが、学校ではどのように対応しているのか。
教育長 家にも地域にも居場所が無くても、学校に来ればカウンセラー・相談支援員・登校支援員がその子にあった居場所

問 不登校児童生徒の居場所が必要では
答 カウンセラー・相談支援員・登校支援員でその子にあった居場所づくりをしている

問 誘致に積極的に取り組めないか。
福祉保健課長 事業者が出てくればいろいろな点

問 誘致に積極的に取り組めないか。
福祉保健課長 事業者が出てくればいろいろな点

問 26年度における支援学級教員及び特別学級支援員の現時点での対応は？
学校教育課長 入学が決定された場合、学校長と協議し適切な配置をした

問 中学校での障がい児用の施設の整備状況は？
学校教育課長 障がい者が進学される場合は学校生活に支障がないよう、トイレの整備やバリアフリー化をしていく考えである。

【その他の質問】「障害基本計画、障害者自立支援事業、スマイルハート事業、福井市・坂井市の福祉事業との相違について」「議会と語ろう会での民意に対する施策について」

に増加。浅見、野中地区からも強い要望があり、ぜひ一歩踏み込んだ早目の対策を講ずるべきだが。
建設課長 福井警察署に対し強く要望している。今後



轟3号交差点

も地域や学校等の関係機関と連携し、積極的な要望活動をしていく。
【その他の質問】「給食費無償化問題で」「稲津松岡線の先線の整備は」

問 中学校の障がい児対応の施設整備は

答 入学時には対応する



川治 孝行 議員

問 永平寺町総合振興計画で、障がい者のニーズに応じた施設支援の充実を図るとあるが、障がい者の障害はどのように大別されるのか？
学校教育課長 ①知的障がい者 ②肢体不自由者 ③身体虚弱者 ④弱視者（視覚障がい者） ⑤難聴者（聴覚障がい者） ⑥その他障害のある者に分ける。

問 中学校に進級するにあたり、中学校への進級評価委員会のメンバー構成と召集時期、及び委員会の開催回数は？
学校教育課長 教育委員会規則により心身障害児就学指導委員会を設置し、委員は学校医、学校長、



志比小学校に設置されている車椅子昇降路

支援学級担当教諭、県の特別支援学校教諭で構成。現在17名の委員を委嘱。就学指導委員会を4月、6月、7月に開催する計画である。
問 委員会特別支援学級教員及び学級支援員が必要と認められた時、派遣依頼は誰がどこにするのか。
学校教育課長 特別支援学級の設置は町が県の教育委員会に申請し、県の教育委員会が学級及び教員の配置を決定する。また、町では生徒の状況等を判断して学校長と協議し、支援員を独自に配置している。

問 融雪事業（新規）は柔軟な取り組みを

答 既存施設の修繕にとどめたい



長谷川治人議員

問 地区の均衡性・公平性に関して、まだまだ融雪事業に対する地区要望がある。平成24年度3月補正予算で消雪施設修繕工事費に7千980万円の増額補正があった。この既設修繕の大型補正は、未整備地区においては不満の要因。今後、ケースによっては、新規事業に関して柔軟に対応出来ないか。
建設課長 新たな個所の消雪整備は、他の地域との公平性を欠く。現在の所は、既存施設の修繕にとどめたい。



問 地区の均衡性・公平性に関して、まだまだ融雪事業に対する地区要望がある。平成24年度3月補正予算で消雪施設修繕工事費に7千980万円の増額補正があった。この既設修繕の大型補正は、未整備地区においては不満の要因。今後、ケースによっては、新規事業に関して柔軟に対応出来ないか。
建設課長 新たな個所の消雪整備は、他の地域との公平性を欠く。現在の所は、既存施設の修繕にとどめたい。



栗住波踏切

問 機能補償道路に信号機の設置を（轟会場）
問 3月24日の中部縦貫自動車道の犬野上志比間の開通で交通量が大幅



多田 憲治 議員

問 定住促進策と宅地造成をセットで

答 子育て支援や若者定住促進事業と連携して宅地造成を検討する



上志比地区せせらぎ住宅

問 定住促進に向け、通勤道路、機能補償道路の整備、中学生までの医療費無料化、この4月から先駆けて着々と子育て支援策を打ち出しているが、受け皿である若者が住宅を建てる土地がない

ということを把握しているのか。

今、国においてもデフレ脱却と景気回復で一丸となり政局は動いており、28年には消費税10%予定で今、駆け込み住宅建設が進んでいる。

せっかく当町の子育て支援は県下一とまで言われ、定住促進を詠ってもい、泥棒に縄。

福井市に隣接する永平寺町のメリットを生かし、子育て支援策ばかりではなく、各課連携で町の方向性を示さなければ

問 県の「ふるさと創造事業」本町の計画素案とは

答 織物会館跡地に、歴史・伝統・文化の発信や活動の中核施設を整備したい



原田 武紀 議員

問 県は本年度から、地域資源を生かした県内17市町のまちづくり活動を支援する「ふるさと創造プロジェクト事業」を開始した。県の補助額は、一市町当たり1億円までで、うちハード事業は7千万円上限で事業費の半額、ソフト事業は全額との説明があった。

本町のプロジェクト素案は、旧松岡村役場（現在の織物会館）の建て替えによる「松岡ルーツ館の整備」と「多目的広場の設置」また、旧松岡藩ゆかり回廊の整備・松平



建て替えを検討中の松岡織物会館

昌勝公生誕300年祭（平成5年）当時の御像祭の再現を図る「松岡復活祭」の開催等を考えているとの事業案であるが、この事業の予定スケジュールを聞きたい。

企画財政課長 現在、県と協議中ですが、県の採択が得られれば、7月頃には住民参加型の協議会を立ち上げ、平成25年度内に詳細な実施計画を策定、平成26～27年度中の事業実施を予定している。

問 「吉野総合開発」の残された課題はどう進める

答 納戸坂線の福井市までの延伸は粘り強く進めたい

問 4月の「議会と語るろう会」松岡西野中会場で「吉野総合開発事業」で残された県道吉野福井線バイパス（現在は町道納戸坂線）新設事業と小

は、納戸坂線の福井市さくら通りへの開通が鍵だと思いが、その見通しはどうか。

町長 県の土木は、現在進めている県道稲津松岡線、機能補償道路、荒川改良等の県事業が完了してから検討すると言っている。

福井市にも継続して要請はしている。いざいざにしても、事業費が大きいため、県の判断を待ちたい。また亀山の宅地造成の施工については、今後の社会情勢を見極めて慎重に判断していきたい。

問 10年後の永平寺町（年金・医療等）目指すところは

答 社会保障は制度設計の範囲で健全運営を

健全運営を

る。またこのような見直しの財源については社会保障と税の一体改革において、消費税増税分を充てるとされている。

問 中部縦貫自動車道の勝山ICから大野IC間が既に供用開始され、機能補償道路が上志比く永平寺間全線開通する。

建設課長 県道京善原目線の交通量が増える事が予想されるので、県では改良工事と荒川改修を視野に入れている。北ICからデイジーの方の町道松岡87号線は北ICの利用状況を見ながら県と協議する。

問 人口構成の高い団塊世代が10年後には後期高齢者となり、その間も人口は減り続けると予想される。合併後、有利に算定された地方交付税も平成32年で終了し、本来の地方交付税に戻る。そんな中、年金や国保会計が赤字にならないのか、厳しいところが多くなると思う。現後世代に過度の負担にならないようにするには、どうしたら良いのか。

平成24年度末 町財務状況 (H25.6.19現在) 下段: 23年度末

【貯金】		【借金】	
基金合計	30億4429万円	一般会計起債合計	76億8622万円
	30億7625万円		78億7622万円
うち 財政調整基金 ※1	23億 727万円	うち 臨時財政対策債 ※2	44億9971万円
	22億7982万円		42億8085万円

※1 財政調整基金とは…町が財源に余裕がある年に積立て、不足する年に取り崩し、財源を調整し計画的な財政運営を行う。
※2 臨時財政対策債とは…町の一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債で、償還費用は全額国が負担する。

問 中縦自動車道等の整備に伴うIC(松岡)周辺の整備は

答 県や福井市との連携を密にして土地利用を誘導したい



小畑 健 議員

問 県や福井市との連携を密にして土地利用を誘導したい

建設課長 宅地造成については横の連絡をとりながら十分協議し、地区振興会などで、この話題を取り上げてもらい、行政と同じような形で進めていくことが重要と感じている。

平成24年度末 町財務状況 (H25.6.19現在) 下段: 23年度末

【貯金】		【借金】	
基金合計	30億4429万円	一般会計起債合計	76億8622万円
	30億7625万円		78億7622万円
うち 財政調整基金 ※1	23億 727万円	うち 臨時財政対策債 ※2	44億9971万円
	22億7982万円		42億8085万円

※1 財政調整基金とは…町が財源に余裕がある年に積立て、不足する年に取り崩し、財源を調整し計画的な財政運営を行う。
※2 臨時財政対策債とは…町の一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債で、償還費用は全額国が負担する。



河合 永充 議員

問 現在、町内の年間要望数は

答

区、団体で505項目、内訳は、松岡地区160項目、永平寺地区180項目、上志比地区147項目、団体、個人が18項目(24年度)

答、計画等を



写真・GPS等が使える情報端末

問 区からの要望の対応、取り上げる基準は？
副町長 町が事業主体の案件は、担当課が現地の確認、詳細な聞き取り、緊急性・事業効果を庁内で十分検討している。事業主体が国・県の場合、実現に向けて働きかけている。

問 住民は、区長から要望を幾ら上げてもしてくれないと思うこともある。限りある予算の中、この多くの要望や、後になる要望の情報が公開されていけば納得いただけるのではないか。

問 区内すべての今年取り上げる要望、回答、計画等を

問 道路や公共物の破損について、どのような対応になっているか？

建設課長 道路の管理については危険箇所がない

問 道路や公共物の破損について、どのような対応になっているか？

建設課長 道路の管理については危険箇所がない

問 道路や公共物の破損について、どのような対応になっているか？

建設課長 道路の管理については危険箇所がない



酒井 要 議員

問 「禅の里」へのコミュニティバスは

答

バスルート再編、ダイヤ見直しを行う

問 今「禅の里」が開湯する。先般障害者スポーツ大会が福井市で行われ、送迎バスの中で禅の里が開湯することを話したところ「コミュニティバスが来てくれない」という悲しい返答があった。えげげん鉄道の話も出た。通勤通学には大変便利だが足の悪い人、高齢者にはホームの階段が大変つらいとのこと。やっぱりコミュニティバスが必要と思うが。

副町長 上志比地区には永平寺温泉「禅の里」という駅と、えちぜん鉄道車の空き時間を利用し、月曜日から金曜日の間、祭日、土曜日あるいは年末年始を除き、翠荘および、永寿苑からの送迎を



コミュニティバス

問 公共施設建設は、まちづくりの基本的な構想を持つべき

答

温泉や道の駅も、町の振興計画に示してある



金元 直栄 議員

問 町村の合併で人の流れが変わり、町内でもマーケットや商店の廃業も見られる。ここに来て道の駅を温泉の横に作るという。直売所などを設けることで地域の買物のできる店を圧迫してはならない。それに合併前からの地域づくりや、以前の道の駅的な計画とは全く一貫性がない。

企画財政課長 公共施設の整備は、総合振興計画や町都市計画マスタープランに基づいて、どの地域も発展するように整備している。

問 道路や公共物の破損について、従来の対応とあわせ、カメラ・GPS

S機能付きで履歴も残る情報端末を使って町民から通報していただくという仕組みも考えたらどうか。

問 道路や公共物の破損について、どのような対応になっているか？

建設課長 道路の管理については危険箇所がない

問 道路や公共物の破損について、どのような対応になっているか？

建設課長 道路の管理については危険箇所がない

問 道路や公共物の破損について、どのような対応になっているか？

建設課長 道路の管理については危険箇所がない

か常に管理意識の向上に努めている。町民からの通報も多く、迅速に現地に向い応急処置、対策を講じ、被害拡大の防止につなげている。

副町長 地域公共交通会議において、老人クラブ連合会の会長やPTAの会長、障がい者の代表等、いろんな方々の意見を聞く中で運行のあり方を十分配慮していききたい。

問 町は公共施設の管理は指定管理しかないというが、法律では指定管理にできるとはあっても、しなければならぬとはなっていない。

副町長 地方自治法の改正で、公の施設管理に指定管理者制度が導入され、法規程の「必要がある」と認めるときとは、「一層向上したサービスを提供すること」になる。場合、直営による指定管理を選択できるとの解釈で、それ以外は直営となる。

問 町は河川公園の管理を、町外の人材派遣会社に

問 町は河川公園の管理を、町外の人材派遣会社に



問 認知症高齢者46.2万人、さらに予備軍への取り組みは
答 元気プロジェクトによる取り組みは町で実施
問 先日、国内の推計がけられたが、対応は！
福祉保健課長 まず調査が必要だと思っている。県の認知症対策は26年度から実施予定だ。町では今年度から福井大学医学部や各大学関係者で構成する元気プロジェクトに、町の保健師等も参加し、地域サロンで検査や診断を行い予防事業を共同で実施することになっている。

問 町の公共施設管理は町内の人に
答 法にのっとってやっている
問 町は河川公園の管理を、町外の人材派遣会社に

問 高志附属中の全貌が明らかではないが 問題点も多い

答 子どもや保護者の相談にはしっかり対応し、
教科内容のずれの解消も考えていく



松川 正樹 議員

問 再来年の春に実現の運びで、現小学5年生が最初の入学生だが、保護者の関心が高まっている。問題点は選抜方法がわかりづらいこと。適性検査というが、結局は学力検査なのでは。しかも狭き門。12の春にも立かせることになる。その中学校では高校の先取り学習をするが、町立の中学校でしないと不公平である。以前から言っている

答 教科内容のずれを中学段階で解消すべきだ。教育長 高志中はどんな狙いを持った学校か、また選抜方法についても明確にアドバイスできるようにする。永平寺町の生徒は優秀なので、立派に戦ってくれるだろうが、補習等で支援していくこともこれから先考えていく。

いほど寂しい限りであった。今後このアンテナショップをどのように活用するのか。
商工観光課長 東京での福井県のアンテナショップは「ふくい南青山291」と「食の国福井館」があり、「ふくい南青山

291」では「ごまどうふ」と「日本酒」が販売されています。アンテナショップの誘客力、また、販売力を活用するために本町の優れた商品を創出し、商工会、関係団体とも協力しながら本町の商品が店頭に並ぶよ

【その他の質問】「永平寺町教育について」

問 他町村、各学校間の交流はあるか

答 可能なら町外との交流も進めたい



渡邊 善春 議員

問 各市町村間において、例えば山間地の生徒と海岸地の生徒との交流が盛んに行われているが、本町の学校においては、そのような交流はあるのか。また、実施予定は考えているのか。

学校教育課長 現在は他町村との交流は行っていない。ただし町内小学校においては、豊かな体験活動推進事業を平成20年より実施している。今年度は7つの



松岡小学校・志比北小学校の5年生交流

小学校の5年生約190名が7月から10月にかけて2泊3日で美浜町、小浜市に向き、漁業体験やボート、調理の体験等を計画している。今後も地域間の交流に地元小学校との交流も可能であれば日程の中に入れていきたいと考えている。

問 幹線道路整備の今後の実施計画は

答 県道の整備、町道の歩道の設置や
バリアフリー化等を進める



川崎 直文 議員

問 永平寺町都市計画マスタープランで計画されている道路ネットワークの整備の状況は。

建設課長 広域幹線道路の中部縦貫自動車道は平成26年度に北陸自動車道と接続され（同時に、国道416号バイパスも完成）、福井北―大野が平成28年度に全線開通。

県道では栃神谷鳴鹿森田線（機能補償道路）は6月に供用開始。稲津松岡線バイパスは平成26年度に完成する。

国道364号谷口バイパスの計画（バイパス道路、新橋建設）は、国道364号を通過



計画の県道吉野福井線バイパス（通称納戸坂線）

する車両が大きく減少し、事業採択は非常に困難となっている。
問 これからの町の幹線道路整備の具体的な実施計画は。
建設課長 今後は都市計画マスタープランに基づき、県道吉野福井線バイパス（通称納戸坂線）の整備、県道京善原目線の拡幅工事などを県へ要望し進めていく。
町道での主な計画は、牧福島藤巻線（旧町道5号線）で歩道の設置及びバリアフリー化への改良整備（平成24～28年度まで5カ年で施工）。

問 身近な道路の安全確保を

答 地域に応じた交差点の改良、
通過交通の規制等を進める

問 身近な道路の通過交通が変わる。交差点の右折レーン設置、歩道の充実、集落内の通過交通の線の右折レーンを設置し

規制等の道路の安全対策の実施状況、課題は。建設課長 県道大畑松岡線の右折レーンを設置し

た。県立大学の前の交差点で渋滞が発生していることから、交差点改良を県に強く要望する。
通勤時間帯の集落の道路への進入規制が設けられているが、警察当局の取り締まり強化が必要。

問 「おいしいね！永平寺」 これはいけそう。成功を祈る

答 料理コンテストで県内外に町の
特産品のブランド化を発信する

問 この企画、やり方次第で大化けしそう。キッチンコピーもいけ、と
農林課長 入賞作品は学校給食に採用する予定で、簡単料理レシピで町が活性化すれば最高と願っている。



「おいしいね!永平寺」ポスター

問 地元ゆるキャラ 「えい坊くん」を さらに人気者に

答 農工商協会で
アイディアを
掘り起こす

問 えい坊くんの人気は上昇中だ。バージョンアップでさらに伸びるが、「サブライズするぞ」という精神も不可欠。トーク力のある歌えるえい坊くんはいかがか。
商工観光課長 県内外のイベントやキャンペーンに町のPR活動を行っている。さらに工夫し、夢を広げていきたい。

【その他の質問】「定住促進の次の矢は」保育士正職員割合が半分弱になったが



滝波登喜男議員

問 公民館に公民館主事の配置を

答 現体制のままでより充実を図る

問 住民の自治能力の再構築を図るには、青年団や壮年団、婦人会の活性化が求められる。そのた

問 学校給食調理室の環境整備を

答 緊急性のあるものから整備する

問 調理室は室温が40度を超え湿度も高く、調理員は帽子、マスク、エプロン姿での作業。熱中症を引き起こす要因が多い。大丈夫か。

教育長 高温状態が長時間続くわけではなく、水洗いなどは結構涼しく、隣の休憩室にはエアコンもあるので作業中に倒れたということはない。



学校給食調理の様子

め、各公民館に地域から選ばれた公民館主事を配置し、育成していく必要があるのではないか。

教育長 今公民館主事を全員松岡公民館に集め、各館の活動の連携や手助けを密にしている。今後は館長との連携を深め、地域に根差した活動をしていく。

をお願ひする。

学校教育課長 温度・湿度等は常時確認し、記録している。職員が快適に安全に作業できるように十分調査し、緊急性のあるものから整備を図っていく。

問 高齢者の4人に1人は認知症、早急な施策を

答 地域サロンで対応していく

問 国の厚労省は推計で認知症高齢者及び予備軍は高齢者の4人に1人になると発表した。将来施設不足、医療や介護も

立ちゆかなくなることから、早期発見、事前対応が重要なのでは。

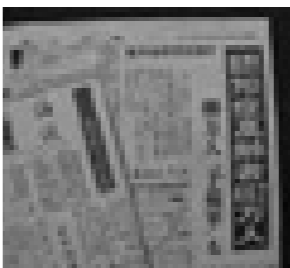
福祉保健課長 今年16ヶ所の地域サロンを対象に実施していく。また、若年層も考えていきたい。

問 認知症は早期発見、事前対応で進行を遅らせる。不安や偏見をな

問 コミュニティバスは予約制乗り合いバスの併用を

答 利用実態を把握し研究していく

問 交通弱者（特に高齢者と学生）の足であるコミュニティバスは、約4000万円の委託料、高齢者や障害、介護者のための外出支援に1850万円の費用がかかっている。利用層・目的・時間



H25.6.2 福井新聞掲載

くす施策を。福祉保健課長 認知症サポーター養成講座や啓蒙を図る。

問 住み慣れた地域や家庭環境で暮らすことでも進行を遅らせる。地域包括ケアシステムの構築を。

福祉保健課長 地域サロンを一つの宅老所的に捉えて進めていきたい。

問 農業問題はTPPだけではない 構造的なもの・農業委員会を生かすべき

答 情報発信や県への伝達をしている



上坂 久則 議員

問 TPPで農業の影響と現状認識を問う。農業はどうなるの。

農林課長 食料自給率の低下、農地の改廃、担い手の減少等により、安定的な食料提供、安全性確保、国土の多面的な保持に問題が生じると想定している。

問 永平寺線跡地遊歩道事業の土地の買収状態は。

企画財政課長 町営第三駐車場から門前バス停までは未買収である。また、その他一部未買収がある。

問 区所有への補助金はあるのか。

福祉保健課長 50万円を超える事業で、上限50万円50%の補助です。社協は10万円以下で、四分の三以内である。

問 松岡中学校第二体育館の使用目的は

答 柔剣道にもアップ会場にも使えるものに

問 松岡中学校第二体育館の使用目的をはつきりすべきである。武道館であれば木造で畳を敷き、

天井も高くなくて良いが、バスケットのアップ会場なら鉄骨建てで天井は高く、ある程度広いものになる。

町長 柔剣道場にもアップ会場にも使えるものがある。体育館を建て、その中で柔剣道にも使う。

問 議会と語るう会で町民の方々から無償化より安全・安心面、財政面、一部負担などの意見があった。

町長 無償化については多くの方々から喜ばれている。長く続けられるようにしていく。

問 京善地区のトイレ設置が駄目になった理由は。

企画財政課長 本年の区の初寄合で設置反対が決

【その他の質問】「やすらぎの里の利活用」

《子育てと学校給食》

問 学校給食費無償化事業は誰が提案したのか。

答 町（行政）が提案しました。
給食費無償化は子どもの健全育成・保護者の負担軽減・若者の定住促進が目的とのことでした。

問 学校給食費無償化の財源はどのように確保するのか。財政的に大丈夫なのか。議会で追及したのか。

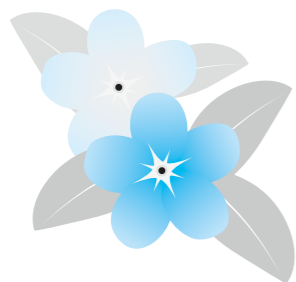
答 町は今後、合併算定替え等で財政は厳しくなるが、人件費の削減、公債費の抑制、経常経費・事務費等の削減、既存事業の見直しにより財源の確保・維持ができるとの見解です。
議会からは、毎年、財政への影響、効果、問題点等の検証をするという付帯決議を付けました。

問 給食調理室に空調機を設置すべきではないか。

答 議会では学校給食費無償化より先に空調機を設置すべきであると、一般質問、予算審議で取り上げましたが、町は平成25年度より学校給食費無償化を実施するとしました。学校給食施設的环境整備については、「各学校給食施設的环境整備を図り、児童生徒に安心安全な給食を提供すること」など5項目の意見を付け、当初予算を認めました。



竹原集落センター



町民の声を議会へ

議会と語ろう会

（※ 資料内容抜粋）

ダイジェスト版

平成25年4月24日25日26日 実施

町民からの質問・要望等への回答

町内12会場で開催し、3日間で延べ200の方が会場に足を運んでくださいました。

《まちを育てる道路整備》

問 観光等で県内外から来訪者の増加が見込まれるが、隣接市には案内板・看板が多くある。上志比のインターも含め、来訪者の利便性を考慮した看板等を増設すべきだが？

答 上志比インター付近、禅の里温泉も含めてPR用の看板は必要です。

問 間もなく開通する機能補償道路には、信号はいつ付くのか。

答 今、野中・轟地区の要望がありますが、信号は公安委員会の管轄になります。この道路は高速道路ではないので、必要な所につくよう議会も努力していきます。



松岡薬師3丁目区民会館

《議会報告から》

問 予算の使い方については熱心に検討されているが、税金を増やすところが具体的に見えてこない。思い切った施策を図る必要がある。例えば、企業誘致・雇用創出など

答 旧松岡町では福井大学医学部や県立大学を誘致しましたが、大学など独立行政法人からの税金はありません。そこで、町主導の宅地開発（清流地区など）をして、人口の増加を図り一定の実績を見ました。企業誘致は議会としても町に要請をしているところですが、現実には大変厳しい状況だと思います。

問 議員定数についての決定過程と考え方を聞きたい。

答 議会でも8回の議論・検討を重ね、採決により現状18名と決定しました。

《各議員がそれぞれ意見・主張をしました》

- ・池田町を除き、他の町と比較して議員一人あたりの人口数（越前町852人、若狹町895人、美浜町622人、永平寺町1,146人）で減らすべきでない。
- ・旧町村間の一体感醸成にはまだ時間と現状の議員数が必要です。
- ・議会の意思決定・議決等には様々な立場の議員が必要です。
- ・均衡ある発展には一定の議員数が必要と考え、現状維持と意思決定しました。



下浄法寺ふれあい会館

《その他》

問 なぜ松岡中学校だけ第二体育館を建設するのか。他校の必要性は。

答 体育の授業で武道が必須となりました。他校は武道場としての広さを確保できていますが、松岡中学校は現在の体育館が狭いとの声があります。また、平成30年に開催される2巡目の国体で松岡中学校の体育館がバスケットボールの会場になったことにより、練習会場が必要だという理由です。

問 松岡河川公園の指定管理者の変更で、シルバーの仕事、高齢者の生きがい失われた。

答 指定管理期間が終了し、公募制による入札を行った結果、民間業者が落札しました。議会の中でも『なぜ』町外の業者なのか、事務所のある有無など議論となりました。

問 議会と語ろう会での意見を集約して、町民の皆さんに配る等の計画は、あるのか。語ろう会での質問・意見についての回答が必要。

答 これまでも、質問、回答を載せたダイジェスト版を全戸配布し、すべてを掲載した完全版は、本庁役場・永平寺支所・上志比支所に冊子を置いています。完全版は議会のホームページにも掲載しています。



轟ふれあい会館

※紙面の都合上、掲載できなかった
質疑内容・回答はホームページほか、
本庁役場・永平寺支所・
上志比支所で7月下旬より
ご覧いただけます。
ご了承下さい。



永平寺町議会

検索

時	7月26日(金)	7月27日(土)	7月28日(日)	7月29日(月)	時
7	00 町長招集あいさつ	00 予算決算常任委員会(1日目①)	00 一般質問(2日目③) 松川正樹議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(1日目③) 原田武紀議員 小畑博夫議員	7
8	37 文字告知放送	08 文字告知放送		44 文字告知放送	8
9	00 一般質問(1日目①) 齊藤則男議員 川治孝行議員 長谷川治人議員	00 予算決算常任委員会(1日目②) 56 文字告知放送	02 文字告知放送 00 一般質問(3日目) 上田誠議員 上坂久則議員	00 一般質問(2日目①) 河合永充議員 酒井要議員 金元直栄議員	9
10	42 文字告知放送	00 本会議		50 文字告知放送	10
11	00 一般質問(1日目②) 長谷川治人議員 長岡千恵子議員 多田憲治議員	26 文字告知放送	53 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 金元直栄議員 渡邊善春議員 川崎直文議員	11
12	48 文字告知放送	00 町長招集あいさつ	00 予算決算常任委員会(1日目①)	42 文字告知放送	12
13	00 一般質問(1日目③) 原田武紀議員 小畑博夫議員	37 文字告知放送	08 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 松川正樹議員 滝波登喜男議員	13
14	32 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 齊藤則男議員 川治孝行議員 長谷川治人議員	00 予算決算常任委員会(1日目②) 56 文字告知放送		14
15	00 一般質問(2日目①) 河合永充議員 酒井要議員 金元直栄議員	42 文字告知放送	00 本会議	02 文字告知放送	15
16	50 文字告知放送	00 一般質問(1日目②) 長谷川治人議員 長岡千恵子議員 多田憲治議員	26 文字告知放送	00 一般質問(3日目) 上田誠議員 上坂久則議員	16
17	00 一般質問(2日目②) 金元直栄議員 渡邊善春議員 川崎直文議員	48 文字告知放送	00 町長招集あいさつ	53 文字告知放送	17
18	42 文字告知放送	00 一般質問(1日目③) 原田武紀議員 小畑博夫議員	37 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(1日目①)	18
19	00 一般質問(2日目③) 松川正樹議員 滝波登喜男議員	32 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 齊藤則男議員 川治孝行議員 長谷川治人議員	08 文字告知放送	19
20		00 一般質問(2日目①) 河合永充議員 酒井要議員 金元直栄議員	42 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(1日目②) 56 文字告知放送	20
21	02 文字告知放送	50 文字告知放送	00 一般質問(1日目②) 長谷川治人議員 長岡千恵子議員 多田憲治議員	00 本会議	21
22	00 一般質問(3日目) 上田誠議員 上坂久則議員	00 一般質問(2日目②) 金元直栄議員 渡邊善春議員 川崎直文議員	48 文字告知放送	26 文字告知放送	22
23	53 文字告知放送	42 文字告知放送	00 一般質問(1日目③) 原田武紀議員 小畑博夫議員		23
24			32 文字告知放送		24

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!

4/15 議会と語ろう会 告知撮影!



4月末開催の『議会と語ろう会』の告知撮影のため、伊藤博夫議長と長岡千恵子議員が、こしの国ケーブルテレビへ行って来ました!

4/16 永平寺口駅周辺整備事業の進捗状況等について意見交換



総務常任委員会で永平寺口駅周辺整備事業の進捗状況等について「東古市まちづくり協議会」を交え、意見交換しました。2名の傍聴者がありました。

4/26 愛知県・長野県・奈良県より議員7名 合同視察



愛知県・長野県・奈良県から7名の議員の方々が当町議会に「議会ホームページとfacebook」「町民参加・町民との関係」「議会の運営」「議会内のICT」についての視察のため来町されました。前日には、竹原集落センターでの議会と語ろう会を熱心に傍聴されていました。

6/3 給食調理場 実地検分

議会だより31号特集記事の原稿依頼を受け、教育民生常任委員会で上志比給食センター、永平寺中学校調理室、松岡小学校調理室の実地検分に行ってきました。

詳細は2・3ページに掲載しています。



6/26・27 6次産業と獣害対策について視察研修



産業建設常任委員会と委員外議員の計7名で三重県へ視察研修に行きました。初日は「伊賀の里モクモク手づくりファーム」を訪れ、6次産業について視察。2日目は「三重県中央農業改良普及センター」で獣害対策(集落ぐるみの体制づくりや被害防止対策等)について研修を受けました。

7/8 議会交流会in東京 資料作成

7月27・28日に開催される「市民と議員の条例づくり交流会議2013」に招かれ、市民と議会の対話とコミュニケーションツールの取り組みについて報告します。その打ち合わせに熱が入ります。



◎『議会と語ろう会』については、20・21ページに掲載しています。

議会・各委員会の議員出欠状況

○：出席 ×：欠席 △：遅刻 早退 ー：員外 傍：傍聴 申：申事 研：研修

日付	開催委員会等	小畑博夫	滝波登喜男	金元直栄	齊藤則男	長岡千恵子	原田武紀	川治孝行	川崎直文	多田憲治	上坂久則	長谷川治人	松川正樹	渡邊善春	河合永充	上田誠	酒井要	伊藤博夫
4月3日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
4月4日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
4月8日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
4月9日	全員協議会	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月16日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月19日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月24日	議会と語ろう会 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月25日	議会と語ろう会 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月26日	議会と語ろう会 3日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月7日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
5月13日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
5月21日	全員協議会	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月21日	消防署統合推進特別委員会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
5月24日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月27日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月28日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
5月28日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
6月3日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
6月3日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月4日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月4日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月4日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月5日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月10日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月11日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月12日	定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月13日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月14日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月14日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
6月17日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
6月17日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月17日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	23	26	22	18	29	25	23.5	28	25	14.5	25	28	22.5	23	22	21	19
	会議回数	23	26	22	20	29	25	24	28	25	19	25	29	23	23	22	21	19
	出席率	100%	100%	100%	90%	100%	100%	98%	100%	100%	76%	100%	97%	98%	100%	100%	100%	100%

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様へ議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会の議員出欠状況を随時お知らせいたします。

B-メイト

手作り民話紙芝居
 サークル

昭和62年に旧松岡町で「本を愛する人たち」の呼びかけで、「松岡図書館振興協議会」略称「らぶこ」が会員7名で発足したのが始まりです。

平成9年に念願だった図書館の開館を機に団体の名称を「らぶこ」から「B-メイト」に変更し、会員も15名になりました。

図書館業務への協力、文化祭の行事として本のリサイクル市や町内の民話紙芝居の制作・公演の活動を続けています。

本のリサイクル市は、町民より収集した本・ビデオ・CD・テープ等を欲しい人に譲るもので、毎年、好評を得ています。

民話紙芝居で町の民話を語り伝えることにより、幼児期から古里を知り、大切に思う心を育てたいという願いから、町の民話について研究を重ね、手作りの紙芝居を制作し、図書館の郷土資料の役割を果たしています。

民話紙芝居は1年に2作品制作し、制作された民話紙芝居の初演は、町の文化祭で行っています。

ここで、民話紙芝居の制作手順をご紹介します。

1. 各地区の民話から今までに制作していない地区の民話2話を選ぶ。
2. 読み合わせ後、紙芝居の画面10~12に区切る。



3. 区切られた文章を場面の展開を考慮しながら町の方言に直す。

4. 一区切りの画面の登場人物、時代背景等を考察して絵を決める。

5. 下絵の制作後、再度見直し。

6. 白表紙に下絵を写し、背景の色どり、登場人物の着物の柄や色合いを決め、色付けをする。

7. 色付けした紙芝居の裏に区切られた文章を貼り付ける。

8. 色付けした絵が流れないようにコーティングをして出来上がり。

「民話紙芝居」は幼稚園・幼稚園・学校・老人施設・各種団体への出前サービスを行っており、町内の3図書館では貸出もしています。

みんなで民話紙芝居を鑑賞して、町の史跡を訪ねてみてはいかがでしょうか。

(長岡 記)



今年もやります！ 8月28日 子ども議会開催

今年も「子ども議会」の開催を予定しています。

昨年は子どもたちから議員顔負けの質問も出てきました。議員席に実際に座り、真剣に質問する姿は、議員そのもの。ケーブルテレビでの生放送も予定していますので、どうぞ楽しみに。

ケーブルテレビ
 で生放送！
予定



昨年の子どもの議会の様子

議会広報特別委員会委員
 委員長 渡邊善春
 副委員長 松川正樹
 委員 小畑博・長岡千恵子
 川崎直文・河合永充
 発行責任者 伊藤博夫

「市民の方から「わかりやすくなってきた」等の感想をいただくことがあります。議会の取り組みについて、他の議会からの評価もありませんが、町民の皆さんに議会を理解していただけることの方が、もっとうれしいです。これからも議会を身近に感じていただける情報発信。広報特別委員会がんばります！」
 (河合 記)

永平寺町議会 7月27・28日に東京で開催される「市民と議員の条例づくり交流会議2013」に招かれ、市民と議会の対話とコミュニケーションツールについて報告します。併せて「議会改革白書2013」という書籍の原稿依頼もあり、「つながる議会と語ろう会」について5000字程度でまとめました。取り組みが評価され全国から注目されることは、議会の一員としてうれしいです。

